

8105 彼は東京で暮らしている。住家は、その南部の・・・

彼は東京で暮らしている。住家は、その南部のはずれにあり、勤め先の大学は、その中央にある。通勤時間は1時間20分、以前は1時間10分ほどであったが、大学がある町の駅を出たところに、三叉の歩道橋がかかり、それまで使用されていた車道を渡る横断歩道が閉鎖されたため、逆に、時間が多くかかるようになったのである。

清岡卓行『朝の悲しみ』

[許容訳例]

He lives and works in Tokyo. His home is in the southern outskirts and the college he works at is situated in the central part of the city. His commuting time is about one hour and twenty minutes. Formerly was about one hour and ten minutes but a three-forked pedestrian bridge was built in front of the station of the town where the college is, and as a result use of the usual crossing was suspended. Therefore it takes a little more time now.

[翻訳例]

He lives and works in Tokyo. His home is in the southern outskirts, while the university where he teaches is in the center. Getting to work takes him roughly one hour and twenty minutes. It used to take about one hour and ten minutes but a three-forked pedestrian bridge, replacing the crossing formerly in use, has been built over the road just outside the station of the town where the university is situated, with the result that now it actually takes longer than before.

■彼は東京で暮らしている。(8105)

● [で] はほとんどの場合「状態・動作+ [て]」

[で] は、日本語の辞書では、場所：「庭で遊ぶ」手段：「車で行く」理由：「雨で中止になる」様態：「笑顔で答える」と分類されています。相当する英語に置き換えると、上から順に、「庭で」は **in the yard**, 「車で」は **by car**, 「雨で」は **because of rain**, 「笑顔で」は **with smiles [a smile]** と、「前置詞(句)+名詞」で対応できます。これで置換してすむ場合もありますが、よく考えてみると、[で] は、「状態・動作+ [て]」を縮めたものです。つまり、

「庭で遊ぶ」は「庭にいて・庭に出て遊ぶ」,

「車で行く」は「車に乗って・車を運転して行く」,

「雨で中止になる」は「雨が降って(きて)中止になる」,

「笑顔で答える」は「笑顔をして答える」

ということです。したがって、[で] は、このように動詞を補わないと対応できない場合があるのです。たとえば、「彼の部屋は六階 [で]、富士山がよく見えます。」を訳す場合、「六階 [で]」は「六階にあつ+ [て]」と解して、

△His room is on the sixth floor, and you [one] can see Mt. Fuji from there.

○His room, which is [being] on the sixth floor, has a view of Mt. Fuji.

○His room is on the sixth floor, from which you [one] can see Mt. Fuji.

とします。

したがって、ここは「東京に住んでいて暮らしている」です。「住んでいる」に対応する英語の動詞は live であり、文脈によっては「暮らしている」に対応する動詞も live なのですが、He lives in Tokyo. とすると普通は「彼は東京に住んでいる」という意味になります。「暮らす」に近いのは、英語で決まった表現と言ってもいいくらいよく使われる live and work で、ここは He lives and works in Tokyo とすると「東京で暮らしている」を表すことができます。

■住家は、その南部のはずれにあり、勤め先の大学は、その中央にある。(8105)

★「住家」は home (住んでいるところ) がいいと思います。house (一戸建ての家) でもいいですが、最近は田舎でも集合住宅に住んでいる人もいるので homeの方が無難です。

★「その南部のはずれに」は in the southern outskirts です。in の代わりに on も使えなくありませんが、on にすると、何だか周辺にくっついているイメージになります。

●「隠れ連体修飾節+不定代名詞的体言」(勤め先の大学)

「勤め先の大学」は「隠れ連体修飾節+不定代名詞的体言」ですから「名詞(the college [university])+関係詞節(where he teaches [works])」です。教員なら he teaches であり、職員なら he works です。

★「その中央にある」is (situated) in the center [in the central part] of the city です。なお、イギリスの道路標識などには city center というのがありますが、これは小さな町に使うことが多く、東京の場合は使えません。

■通勤時間は1時間20分、以前は1時間10分ほどであったが、大学がある町の駅を出たところに、三叉の歩道橋がかかり、それまで使用されていた車道を渡る横断歩道が閉鎖されたため、逆に、時間が多くかかるようになったのである。(8105)

★「通勤時間」ですが、そのまま訳すと the commuting time となり、間違いではありませんが、こういう言い方はあまりしません。普通は It takes him...to get to work とか、Getting to work takes him...と簡単な言葉を使って伝えます。

★「ほぼ」は about の他に roughly とか...or so ですが、roughly には「必ずしも正確ではないけれど、かれこれ・・・」というニュアンスがあり、日本語の「ほぼ」にもそのニュアンスがあるのでぴったりではないかと思います。なお、approximately もよさそうですが、これは「日本語の「約」に近い感じです。「約」と「ほぼ」の違いは「約1時間」と「ほぼ1時間20分」です。

★「以前は(・・・であった)」は before (前に・以前)ではなく formerly です。なお、ここは used to...が使える典型的な例です。

●「(・・・であった)[が]」は、素直に but でいいでしょう。

●「連体修飾節+不定代名詞的体言」(大学のある街)

「大学のある町」は「連体修飾節(大学のある)＋不定代名詞的体言(町)」ですから「名詞(the town)＋関係詞節(where the college [university] is situated)」です。is situated は is でも文法的にはいいのですが、ちょっと弱い感じです。

★「駅を出たところに」は in front of the station でもいいのですが、「出たところ」という感じは just outside of the station でしょう。ついでながら、at the front of the station と言うと、「駅の一部としての前」という感じで、たとえば、There is a sign at the front of the station. (駅の前に掲示してある)とか、There is a ticket machine at the front of the station. (駅の入り口に券売機がある)のように使います。

★「三叉の」は、「三叉路」を a three-forked road と言うので、three-forked でいいでしょう。

★「歩道橋」は、イギリスにはないので言葉ありません(香港にはあったように記憶しています)が、普通、a pedestrian bridge [overpass] と訳されています。a walking bridge という言い方は見たことがありません。footer bridge は、田舎の小川に架かる「板の渡し」のようなもので、ここでは使えません。そう言えば「カーブミラー」は日本でしか見かけませんから、これは和製英語でしょう。

●「連体修飾節＋不定代名詞的体言」(それまで使用されていた横断歩道)

「それまで使用されていた車道を渡る横断歩道」ですが、「車道を渡る」は不要です。筆者は多分、ちょっと広い車専用の道路と言いたかったのだらうと想像できますが、訳出不要に思えます。そこで「それまで使用されていた横断歩道」とすると、これは「連体修飾節(それまで使用されていた)＋不定代名詞的体言(横断歩道)」ですから「名詞(the crossing)＋関係詞節(which was used formerly)」ですが、他に the usual crossing とか、the crossing formerly in use とも言うことが出来ます。また the crossing の代わりに the crosswalk; the zebra crossing; the pedestrian crossing などを使うことができます。

★「閉鎖された」ですが、ここでは「中止する；停止する」の suspend か、あるいは「それまで使われていたものをやめる」という意味の do away with とか、「それまであったものが廃止される」という意味の replace を使うことができます。なお、こういう場合 cut off とか shut とかは使いません。また、close も使えません。道とかトンネルとか地下道とか立て札を置いて閉鎖するのならいいのですが、横断歩道はペンキを塗り替えたり剥がしたりするだけですから close は使えないのです。

● [ため]

「・・・したため」は therefore でも間違いではありませんが、日本語の「{単位情報}＋[連結辞]」は、多くの場合、英語では、次の {単位情報} の前、つまり「[連結辞]＋{単位情報}」で処理します。ここも with the result that…とか as a result of which…とすると因果関係を明瞭に表すことになります。

★「逆に」ですが、ここは「(三叉の歩道橋ができたので今までより時間が短縮されたと思うのが普通なのに)ところがそうではなく、かえって・・・」という意味です。これにぴっ

たりする言葉はないのですが、「まさかと思うかもしれないけれど、実は」という意味の actually を加えると、「逆に」の意味が出ると思います。

★「時間が多くかかる」は it takes a little more time とか it takes longer than before です。

★「・・・ようになった」は、普通、 came to do…とか began to do…と訳すのですが、この場合 now…でいいように思われます。